

高次脳機能障害支援ネットワーク構築等事業について

障がい者支援課

1 目的

病気や事故などにより、脳の一部に損傷を受けた結果、記憶障害等により日常生活や社会生活に制約がある高次脳機能障害は、外見上障がいの有無が分かりにくく、障がい特性の理解が進んでいないことや、地域における早期発見・早期支援の体制が十分ではなく、支援に結び付きにくいことが課題となっている。そのため、令和7年度から専任のコーディネーター2名を県立総合リハビリテーションセンターに配置し、医師等の専門職と連携しながら、高次脳機能障害の総合的な支援体制の構築を図る。

2 事業概要〔主な取組状況〕

<p>(1) 地域における支援体制の構築 (※長野及び北信圏域からモデル的に実施)</p> <p>関係機関との連携による困難ケースや課題の把握・共有、課題解決に向けた地域支援ネットワークづくり</p> <p>〔 R7.10:北信圏域の相談支援事業者との情報交換、R7.11:北信地域障がい福祉自立支援協議会において高次脳機能障害支援体制に係る検討開始、R8.1:長野市内3事業所との情報交換 〕</p>
<p>(2) 専門的相談支援</p> <p>当事者とその家族、障害福祉サービス事業所等の支援者、関係機関等に対する相談支援を実施</p> <p>〔 延相談件数 60 件、障害福祉サービス事業所等へのアウトリーチ5件(R7.12 月末現在) 〕</p>
<p>(3) 支援者の養成</p> <p>障害福祉サービス事業所等の職員を対象とする高次脳機能障害支援者養成研修等の実施による支援者のスキルアップ</p> <p>〔 R7.8:市町村・保健福祉事務所職員を対象とした研修会を開催(参加者 78 名) R7.10~12:障害福祉サービス事業所等の支援者養成研修会を開催(修了者 38 名) 〕</p>
<p>(4) 障がいへの理解促進</p> <p>啓発リーフレットの配布、出前講座の実施、高次脳機能障害支援拠点病院の研修会開催支援</p> <p>〔 R7.10~11:拠点病院研修会の開催、世界脳卒中デーに合わせた啓発活動を実施(松本駅等) 〕</p>

3 令和8年度予算額(案)

17,955 千円(国補:8,973 千円、一財8,982 千円)

【イメージ図】

